

富浦さんはもとと料理が好
きで、以前借りていたスタジオ
では、よく仲間や友達を招いて
パーティーを開いては、その腕
をふるっていた。その日も、い
つもの店で「(鶏)モモ10枚」
と頼むと、強面の店主が「店ど
こや? いっぺん行くわ」と声を
かけてきた。店主は、富浦さん
を料理人だと勘違いしていたの

だ。その日から、その店主とは
一気に親しくなり、やがて「今
日、ええキモ入ったで」と、ス
タジオに電話がかかってくるよ
うな関係になった。
フォトスタジオにとっても、
松屋町筋と空堀商店街の至近距
離にあるのは、願ってもない好
条件だった。写真撮影の最中に
何か足りないものに気づいても、
ほとんどのものは安く手に入っ
た。商店街の中で特に有難かつ
たのは公設市場にあった荒物屋
さん。急に行っても、山積みにな
った商品の下の方からごそご
そとイメージに合うものを引っ
張り出してきてくれた。後日、
「あれどうやった?」「よかつた
わ」というようなやりとり

をした。
今は、問屋街の活況は見る
影もない。商店街も公設市場
にあったような個人商店はず
いぶんと減ってしまった。スー
パーマーケットや飲食店が増え
た。お店の人と話をしながら買
い物をしているのは、だいたい
年輩の人。若い人は急ぎ足で通
り過ぎて行く。寂しいなあと思
う。本当は、若いお母さんにこ
そ、お店の人との会話を楽しみ
ながら買い物をする姿を、子ど
もに見せてあげてほしい。
市場には生活を豊かにする力
がある。若い人たちに、そのこ
とを気づかせてあげてほしい。
商店街は、地元の人々が足繁く
通ってこそ繁盛する。商店街本
来の力を取り戻すためには、ま
ずは店の商品の良さをアピール
すること。以前、ぶら空堀に参
加した時、隣で若者が「からほ
り井」の写真を展示していた面



白いと思った。でもどうせなら、
商店街全体が参加して一日屋台
村をしたら、もっと面白いん
じゃないか。井を持って端から
端まで歩いて、色んな屋台で少
しずつ何か買って井を完成させ
て、その場で食べてもらうよう
なお祭。商店街の高齢化が気
なるなら、若い人にボランティア
で屋台での接客を手伝っても
らえばいい。本来の空堀商店街
は人情味あふれるところ。若い
人たちには、きつという経験に
なる。(聞き手 井藤美由紀)

空堀の人情を次世代に

STUDIO BAG代表 富浦隆則さん

からほり新聞

第35号
(2015.10.26)

「空堀界隈を散策される皆様へ」

- ◆路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。
- ◆美しい石畳や木造家屋に「ミ」は似合いません。
- ◆商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

会のお知らせ

お年寄りの皆さんが、住み慣れた町で楽しく充実した暮らしが続けられることを願って、支援活動や暮らしの潤いになる様々な企画を推進しています。

- 高齢者外出介助の会
 - ◆からほりさろんにぜひお越しください。月～金10時～17時まで空いています。
 - ◆英会話始めます▶10月28日(水) 19:00～▶参加ワンコインです▶問い合わせ: 06-6764-4002
- 中央区社会福祉協議会
 - ◆中央区社協フェスタ▶①11月15日(日) 11:00～15:00▶ふれあいセンターもも(雨天決行)美味しい食べ物、楽しいコーナーがいっぱいあるよ
 - ◆乳幼児のための救急と防災▶12月4日(金) 10:30～12:30▶乳幼児のための救急と防災▶大阪市立中央会館▶未就園児とその保護者50組(先着順・事前申込制)▶問い合わせ: いずれも06-6763-8139
- 桃園会館
 - ◆ふれあい食卓会▶11月2日(月) 11:00～13:00▶70歳以上▶参加500円▶葉業年金会館▶要申し込み▶問い合わせ: 06-6762-5599

当会は寄付が主な活動資金です。
この度イオングループのKOHYO空堀店様のご支援を頂くことになりました。毎月11日黄色のレシートを備え付けのボックスに入れて頂くと売り上げの1%が高齢者外出介助の会に還元されます。皆様ご協力お願い致します。

- 桃谷会館
 - ◆作品展▶11月21日(土)～22日(日)▶桃谷会館内
 - ◆餅つき大会▶12月13日(日)▶問い合わせ: 06-4304-2266
- 空堀まちなみ井戸端会 オープン台地参加
 - ◆空堀すざろく作ろう!ワークショップ▶11月28日(土) 13:00▶からほりさろん受付▶13:30～15:30▶なごみ
 - ◆真田丸の主戦場で聞く!空堀大講談▶語り旭堂南陵さん▶12月5日13:30～14:30▶葉業年金会館▶問い合わせ: 高齢者外出介助の会 06-6764-4002

お買い物は空堀商店街で

特定非営利活動法人

高齢者外出介助の会とは?

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動をしています。

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ②暮らしサポーター(買い物、薬取り、入院時支援など)
- ③車椅子貸し出し(お気軽にご利用下さい)
- ④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、布ぞうりなど)
- ⑤ハーモニカ教室
- ⑥「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。

大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階
TEL&FAX 06-6764-4002
月～金(10:30～15:00)
E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp
ホームページ: odekake-karahori.com

「からほり新聞」は高齢者外出介助の会に集う有志が、愛する「からほり」の賑わいを願って作っている無料のコミュニティ紙です。ご意見・ご感想投稿・イベント情報などお待ちしております。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおっしゃってくださいのお店も大募集。
「からほり新聞に参加したいなー」と思われる方、大歓迎です。気軽にご連絡ください。(現在55カ所設置)

からほりさろんで健康法しています!

- 第3水曜日 **タッチフォウヘルス**
自分の体は自分で治そう
- 第4金曜日 **健康体操**
椅子に座ってする健康法で誰でもできます。

古典・現代邦楽など、どの分野でもお教えします

生田流 箏・三絃 九州流

講師: 門脇 裕子

- ◆稽古日: 相談
- ◆月謝: 5,000円
- ◆お問い合わせ: 080-3117-6684

機銃掃射の恐怖を経験して

〔黒田雛子さん 大正十三年生〕

昭和18年は第2次世界大戦の半ばで男子は次々に戦場へと出征していき、日本は人手不足で困っていました。この年学校を卒業した私は、就職せずに好きな絵を習いたく、大阪美術学校に通い始めました。ところが仕事を持たない女性は許されない時代、どう調べたのか日本生命から入社を勧める通知が入り、仕方なく勤めることになりました。でも仕事はお客様の苦情の対応係、20歳の私には荷が重すぎて大変でした。



通信手の制服で

昭和19年4月中部軍が「女子通信手」を募集していることを知り、早速応募しました。数学と理科のテストがあつて何とか合格、中部〇〇部隊の所属として大阪城天守閣の隣に物が私の職場となりました。昭和20年6月1日の事、私の家は上本町3丁目、上町筋の東側で割烹店を営んでいましたので、泉佐野へ魚を分けてもらいに朝6時から家を出ました。魚を持って帰ろうとすると空襲警報が鳴り、空一杯の米機の編隊

が大阪に向かっていくのを見て、大阪がやられると直感しました。天下茶屋で全員電車で降ろされ、徒歩で帰るのですが、くすぶる中を上六まで来た時、ああ我が家は駄目だな、と観念しました。家の焼け跡に残された大型の銅(あか)の冷蔵庫を開けてみると、鶏肉などの肉類が蒸し焼き状態だったのが忘れられませんでした。両親とは幸いにも空堀商店街西側、公設市場の前あたりで出会うことが出来ました。家を失ったので両親と私は、以前買ってあった四条畷(小楠公墓地の隣)の家に移り、私はそこから片町線で大阪まで通うことになりました。

忘れもしない「6月15日」大空襲で片町線は止まり、私は軍の仕事なので休むわけにはいかず、知らない道を尋ねながらひたすら大阪城に向かって歩きました。丁度半分は来たかな、と思えた昼ごろ、空襲警報が鳴り、焦りましたが周りは畑ばかりで人家も近くにありません。すると「ダダダダ…」という機銃掃射の音が聞こえ、飛行機がこち

らに近づくと見えました。咄嗟に畑の畝と畝の間に(あせ)に腹ばいで身を伏せましたが、次第に地面が強く震え始め、その振動は信じられない激しさで、お腹を打ち震わせました。「これで死んでも仕方がない、同じ死ぬなら、弾が沢山当たるほうが苦しみも短いに違いない」、そんな思いが頭をよぎりました。飛行機は上を通り過ぎて遠ざかっていきましたが、暫くは呆然とそこに座り込み、立ち上がれませんでした。

何処をどう行ったのか、目の前に見慣れた大阪城を見てやっとなんか「助かった」と実感しました。「誰にも知られず、畑の中でたった一人で死んでいく恐怖と孤独感」は70年経った今も昨日のように思い出します。それは空襲で家が被災した時の悲しみよりも、もっと強烈に残っており、私も只今91歳、人生の中で何かに残るものは?と聞かれ、迷わず「あの畑の中での恐ろしさと孤独感」とお答えすることでしょう。

伝えたい | まちの記憶 | 戦争の記憶

女3人よれば姦しい?



高齢者外出介助の会
事務局長 永井佳子

ある土曜日モニター会議に出席しました。久しぶりに会った友人と終了後お茶をしました。女三人よれば姦しいと言われるが、歳を重ねることで体が不自由になったことや、それにつれ暮らしが変わる話で盛り上がりました。

私の耳が悪い状況を話、こんなことが不便、あんなことも不便。

会議の席で意見を言いました。主催者は確認したかったのでしょうか、場所を聞かれたらしいのですが、耳には言葉が届かず、私はええ加減なお答えをしたようです。またマイクを使われても声が割れて聞きづらいこと。このように耳が悪くなるとう面倒なので、いい加減でわかったふりをし結局

コミュニケーションがとりにくいという話。

友人は難病で右手が使いにくい。歩き出しが若いとき考えもしなかったので、今思うと、母の立ち居振る舞いを見て兄弟が集まると「気を引いて、大層にする」という

ていた言葉が胸にささっている。これも自分が体験しないとわからないことばかりと、昔の私たちが年長者に取っていた態度の反省や、思いやりが足りなかった若かった自分の後悔の弁。母たちも一生懸命に生きていたのだという共感。これからの私たちの暮らしかたや希望。活動のこと、こんな話題で久しぶりの出会いを楽しんできました。



車椅子から眺めれば

街のおじさんから

高齢や障害で車いす生活になることは誰にでも起こるかも...でも車いすからは世の中がよく見えてくる。そんなおじさんの考えたことを連載で。

区役所での支援会議の帰り、松屋町筋の紙製品問屋さんのガラス戸の、張り紙が目にとまりました。「近くに在宅支援センターができて、お年寄りの姿をよく見かけるようになったから」と。イスも5脚ほど並べてあり、休憩とトイレ使用をして頂くとの配慮でした。

また本町の生命保険会社には、歩道からよく見えるように「車イストイレ



レを使ってください」の標示が出してあります。大きな事務所ビルなどには必ず車イストイレがありますが、セキュリティが厳重で入れないことが普通になっています。簡単にできる社会貢献として、事業所などが、チョットした心遣いをする街って良いですね。(身障者相談員・山名勝)



地域の福祉、みんなで参加

●地域の福祉の充実に、みなさまのご支援をよろしくお願い致します。共同募金は、10月1日～12月31日の期間ですが、年間を通じて寄付金を受付しています。●大阪府共同募金会事務局は、谷町7丁目交差点を信号1つ西入ルの大阪社会福祉指導センターの2階にあります。どうぞよろしく。●ホームページをぜひご覧下さい。http://www.akaihane-osaka.or.jp

からほり新聞に広告を出しませんか

①1コマ 縦49mm×横79mm 3,000円
②1コマ 縦33mm×横79mm 3,000円
(2回連続で掲載の場合は5,000円)

* 原稿、データ(ロゴ等)をいただきましたら、こちらで作成させていただきます。

連絡: TEL・FAX06-6764-4002



生まれも育ちもこの空堀地区という浦野さん。中央区桃園連合振興町会会長、桃園地域社会福祉協議会会長。桃園地域ネットワーク委員会委員長を務め、今年の4月に社会福祉協議会の会

長にも就任し地域のつながりを深める取り組みを積極的にやっている。「若い人たちの協力があるの、でもでもスムーズに進められる、といっても若い人も60歳くらい

終戦後も住み慣れた自宅で暮らす人が大半の空堀。浦野さんの一番の希望は「誰もが」安心して暮らせる街づくりだ。誰もがというの、赤ちゃんからお年寄り、障害者、とあらゆる人たちのこと。お年寄りに元気に過ごしてもらえよう週4回、お弁当を販売したり、子どもとの交流でふれあい喫茶を開いたり、納涼ビ

地域に愛着を持ち、日々みんなが安心して暮らせるようにと願う浦野さん。「自分の生まれ育った地域に役立てることはとても幸せ。元気なうちは地域のために尽くしたい」と当たり前のように話した。

大坂市中央区社会福祉協議会会長 浦野 院次 さん
今回の空堀人は大坂市中央区社会福祉協議会、桃谷連合を始め地域の連合会長として安心、安全で明るく触れ合える街づくりを目指している浦野院次さん(80)

「誰もが」安心して暮らせる街に

快傑! からほり人 快傑ファイル其の二十七

ガラス工房「ゲットバック」

空堀の路地を歩いていて見つけたガラス玉工房。2001年からガラス工房を始め、最近安堂寺町から空堀に来られた岸本さん。数人で夢を語り合い始めたが、試練に。その時の想いで夢を七色のガラス球に託し、それからは七色のガラス玉を作っているそうです。その後、彩玉(いろどりだま)という名で各地の百貨店などに出品。販売は九州から北海道までの各地で委託販売と百貨店などの実演販売に力を注いでいる。

夢は工房にしているところで展示販売が出来たらと。細かい作業に時間と労力が取られなかなかできないそうで、もう少し販売も絞って行きたい。モットーは買ってくれた方の身になり対応しつつ、お客さんの希望に沿ったものを作りたい。

☎ FAX 06-6764-1367



ぶらり空堀を歩くといろいろなものに出会います



ポリのごみ箱が出てくる前はこれでした。周りを見回してもポリのごみ箱はありません。これが今も活躍しているということでしょう。



横の鉢植えの棚も高さがあった。それもすごいと見ていたら、軒先に下がったブドウの房と袋が掛けているのも数個。

日曜日のお昼、長堀筋に面した喫茶店に。お昼をし、出てびっくり。横に回ると換気扇のダクトがズーと続いてどこまでと見るとマンションの裏。そこから階段を上。やっと先が見える。長いダクトでした。



か ら ほ い 界 隈 お 散 歩 M A P

皆様のからほり地域の情報をお知らせください!

長堀通

⑤ 谷町六丁目駅

其の31

～いちげんさんコンビがお散歩～



空堀のいちげんさんコンビがお散歩しました。住民の方からすれば日常に溶け込んだ風景も、初めての人間からすると不思議に見えるのはよくあること。空堀もおそらくその例外ではありません。今回は、からほりの風景のユニークさに注目してマップを作成しました。

「なぜ西側に偏っているの？」と思っただ方もいらっしゃるかもしれません。他意はまったくありません。

「え？そこに注目するの？」と驚く方もおられるかもしれませんがね。

取材・東田隆子
MAP作成・山本のぶゆき



◀平田さんお好み焼き屋さんの西斜め前

いちげんさんコンビとはこの2人...どこにいるかわかりますか？



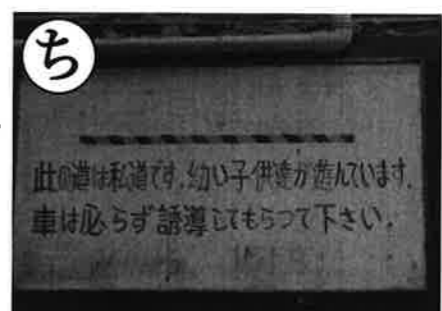
◀タイ式マッサージの店の屋根にピンクの花が咲いていたのですが。見えませんね...



◀古少年...!?! アンティークなもの並ぶお店。昔はみんな若かったということでしょうか。



◀「小玉湯」昔はお風呂屋さんだったのでしょか？ 素敵な建物



◀子どもたちが遊ぶのはノープロblemです。



◀屋根からソテツが飛び出たバージョンもあります！



◀マンホール下水道の蓋が...大阪城です。



◀通りすがりできき氷をおごってくださいる方が出現! なつかしい看板



◀あちこちにあるお稲荷さん。真っ赤っ赤